

相生デイビス新聞

発行所
相生DS
44-4165



床屋さん
3(月)
12(水)
20(木)

赤もあざやかにポインセチア
街路樹の葉も数えるほどになって、いよいよ師走です。

花屋さんの店さきにはポインセチアの鉢植えがならん

ごいます。あざやかな赤に

思あず足を止めました。

名歌

白鳥は哀しからずや
空の青海のあをにも
染まずただよふ

若山牧水



渡り鳥

今が旬!



富山湾の寒ブリ

明治四十年二月外房

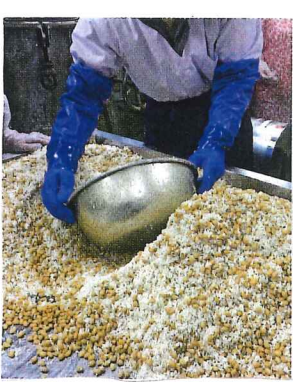
※ ぶり起こし

冬の空に雷鳴が響くと、浜は漁師たちの歓声で活気づく。地元の人々が「ぶり起こし」と呼ぶ地鳴りのような雷



12月3日
秩父夜祭
日本三大曳山祭りのひとつ他に
・京都祇園祭り
・飛騨高山祭り

? 何してるの、



今月の予定

- 25(水) ※おやつ作り ゆず湯
- 22(土) つるがいかラオリ
- 20(木) ハモ方と民謡
- 19(水) 春さんと仲間たち
- 18(火) ボーテママン
- 17(月) つつし華の会
- 14(金) リストランテ江川
- 13(木) 小林音楽
- 11(火) よさこいポパイ
- 8(土) 藤美会

風情...



会津東山温泉

「ユーモアくらぶ
おこずかいをくれたら
いい子にしてるよ」
「イタズラ坊やはママに言った。
まあ、何んでお父さまみた
いになれないの。
お父さまはおこずかいなしで
もいい子ですよ」

懐かし の写真館



紙芝居
昭和32年頃
昭和30年頃
給食風景

天声珍語
水を弾く
弾力性もなく
水分を取り込む
吸収性もない。
潤いは消滅し
全体に砂漠化
している。
ああ、肌。
男といえども
気になるのだ。
誰に見せると
いうことも
ないのだが...
こっさり、
女房のクリーム
を塗ってみた。
ひと月、ふた月、
無駄であった。
むしろ、
しみは広がった。
朝の身支度を
憂うつな
うちに終えて
街へ歩き出
した。
ヒューヒュー
今日も
肌をやっかいな
風が吹いて
いる。
ススム